
シンポジウム 3

手術の坂と雲～新時代へ進化～

座 長 日 向 信 之 (広島大学大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学)
武 中 篤 (鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野)

司会のことば

本邦における泌尿器科の手術療法において、ロボット支援手術は泌尿器科 major surgery のほぼ全てを保険適応上網羅し、これに伴い、術式や指導法の改良や医工連携による機器開発や術式開発が行われつつある。

本シンポジウムでは、佐々木雄太郎先生からは国産手術支援ロボット hinotori を用いた手術について、岩崎和範先生からは RARC の習得について、西川涼馬先生か

らは RARP について、宮本俊輔先生からは RAPN における 3D ナビゲーションの可能性について、角田俊雄先生からは RANU の術式についてそれぞれ御解説いただいた。

明治維新を成功させた日本が欧米列強に学びながら近代国家としての体制を整え、ついに日露戦争において勝利に至る勃興期の明治日本に準え、泌尿器科手術における新しい時代への進化をディスカッションできるシンポジウムとなったのではないかと考えている。